



「みんなが輝く羽村二中」

清風

令和7年9月2日
学校だより9月号
羽村市立羽村第二中学校

2学期のスタートに「落語」！

校長 清水 大史

秋の訪れが待ち遠しい今日この頃です。いよいよ2学期が始まりました。今学期も安全で楽しい教育活動を心がけていきます。御協力や御支援の程よろしくお願いいたします。始業式で生徒に向けたメッセージ、笑顔と学びの体験活動プロジェクト「落語」の生徒の感想を紹介いたします。

「始業式の話」より ～「楽しく充実した2学期にしよう！」という気持ちをもつために～

1. 自ら考え、思いやり、課題を解決する。

2学期は体育大会もありますので、自分たちの目標も自分たちで決めてみましょう。みんなで決めた目標に向い、対話しながら工夫して課題を解決するのは大変なことです。その挑戦は楽しく、やり遂げた時の充実感は最高です。ポイントは思いやりの気持ちだと思います。思いやりからは絆も生まれるでしょう。そして、その経験は、授業、生徒会活動、学級活動にも活用していくことができるのです。

2. 羽村二中のよいところを引き継いでいく。

2学期は、様々な活動が先輩から後輩へと引き継がれていく学期です。それぞれの学年への期待を伝えます。1年生は、指示待ちにならず、自ら考え行動する。2年生は、自ら中心となって行動し、後輩に分かりやすく教える。3年生は、自らお手本となり、羽村二中のよさを後輩たちに伝える。2学期も「みんなが輝く羽村二中」を合言葉に、楽しく充実した学校生活にしていきたいと思います。

「桂三四郎の上方落語会＋落語入門」生徒の感想 ～笑顔と学びの体験活動プロジェクト～

- 1年生
- ・落語って、こんなにおもしろいって、気づかせてくれた桂三四郎さんがすごいです。
 - ・1人でしゃべっているのに、たくさん人がいるみたいで、とてもおもしろかった。
 - ・左と右で人が変わることを知った。 ・本当は無いのにあるように見えてすごいと思った。
 - ・素直に聞くことは今後に生かしていきたい。 ・人を笑顔にできるようにになりたいです。
- 2年生
- ・自分が思っていた展開と全然違う想像のつかない展開になるところが、おもしろかった。
 - ・元気がたくさんもらえました。 ・落語のような日本の文化は大切にすべきと思いました。
 - ・想像の楽しさと、工夫して聞いている人を笑顔にする楽しさに触れさせてもらいました。
 - ・人の話をしっかり聞くことが、夢への一歩と聞いて、改めて話をしっかり聞こうと思った。
- 3年生
- ・人物の切り替え、目線、道具の使い方を教えていただき、落語の楽しさが分かりました。
 - ・夏休みの疲れが吹き飛ばすくらい笑うことができました。 ・受験のことも心に響きました。
 - ・落語は、頭の中で情景を思い浮かべながら聞くことも、楽しみの1つだと知りました。
 - ・夏休み中は勉強ばかりで、学校に来るのもしんどかったけど、来てよかったと思えました。
 - ・外国に行った時など、英語が伝わらなかったら、手や視線を使いジェスチャーしていく。
 - ・意識を変え、人の話を真剣に聞いていきたい。 ・想像力を豊かにしたいと思いました。

ピースメッセンジャー

青梅市と羽村市では、両市の中学生と一緒に、平和に対する学びや想いを深めることを目的として「青梅・羽村ピースメッセンジャー事業」を実施しています。この夏、青梅・羽村ピースメッセンジャー事業に二中生7名が参加してきました。3回の事前学習後、広島で2泊3日の現地学習を行い、東京に戻ってきてから2回の事後研修会を経て、派遣報告会を行いました。

中学生などの若い世代が、戦争について学ぶ機会は机上での学習が中心であり、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考える機会が減少している中で、貴重な体験と学びになりました。



男女ソフトテニス部 関東大会出場

ソフトテニス部が、この夏の東京都大会で男子団体3位、女子団体4位となり、関東大会に出場しました。女子のシングルスでは、西原・最上ペアが関東大会第8代表となりました。関東大会は8月7・8日に山梨県小瀬スポーツセンターで行われました。男子は、神奈川県第2代表に勝利するなど力を発揮しました。とても暑かったですが、選手のみなさんよく頑張りました！



男子団体メンバー



女子団体メンバー



女子シングルスペア

生徒の日々の活動や学校の様子をブログで紹介しています。お時間がございましたら御覧ください。

[ニ中ブログ…https://hamuradai2.blogspot.com/](https://hamuradai2.blogspot.com/)